

# ユーモアスピーチ船橋

2021 (R3) 年 8 月 12 日発行

ジョークは暮らしの調味料・ユーモアは人生のかくし味

178 回船橋ユーモアスピーチ

2021 年 8 月 12 日 (木) 3 分間スピーチ

スピーチテーマ 「名場面」、「変化」

ロングスピーチ

原田 益次さん 「戦争映画の三大主題歌」

主催：NPOシニア大楽

ユーモアスピーチ共和国・船橋支部

支部長：長嶋秀治 043-261-5832

発行者：長嶋秀治

編集&事務局：町田雅和

267-0066 千葉市緑区あすみが丘

5-26-7 T/F 043-294-2911

mac555new@ybb.ne.jp

参加費 500 円 (入会金 1000 円)

見学科 500 円

開催日と場所 (原則)

毎月第②木曜日 15:00~18:00

会場 船橋中央公民館 第2集會室

4階

7 月 8 日の参加者：原田、工藤、中久木、石渡、入江、大塚、下村、松永、常廣、佐々木、飯野、脇田、洪沢、山中、東條、稲葉、田谷、植野、早瀬、町田、長嶋 21 名

## 前回のロングスピーチ

### 「暦の話」

山中 昇さま

①梅雨にまつわる話：旧暦と新暦の違いによって季節感がずれることを語った。

・芭蕉の「五月雨を集めて早し最上川」：当初の句会では「集めて涼し」と詠んだが、長雨により増水した川下りで激流を体験した芭蕉は、思わず「集めてはやし」と句の内容を変更したといわれている。

・「閑さや 岩にしみいる 蟬の声」：旧暦 5/27⇔新暦 7/13、何ゼミか？という不毛の議論も紹介した。

・映画「天地明察」に触れながら。江戸時代に日本独自の暦（大和礫）をつくらうとした安井算哲（あらため渋谷晴海）の奮闘を紹介した。

②土用の丑の日についての情報を整理して伝えた。

・土用の丑の日とは：「土用」は立夏・立秋・立冬・立春直前の約 18 日間の「期間」を示す言葉。旧暦では十二支(子・丑・寅・卯…)で日を数えており、丑の日はその一つ。

・2021 年の土用の丑の日は 7 回ある：1 月 17 日、1 月 29 日、4 月 23 日、7 月 28 日「一の丑」、8 月 1 日「二の丑」、10 月 20 日、11 月 1 日

・7 世紀から 8 世紀に編纂された「万葉集」には、ウナギを詠んだ歌があります。「石麻呂に吾れもの申す夏痩せによしといふものぞむなぎとり召せ 大伴家持」

■土用の丑の日、誰が決めた？：「夏に売り上げが落ちる」と鰻屋から相談を受けた蘭学者の平賀源内が、店先に「本日丑の日 土用の丑の日 うなぎの日 食すれば夏負けすることなし」という看板を立てたら大繁盛したことで、ほかのウナギ屋もマネするようになったとか。

■ウナギ以外には「丑(うし)の日」の「う」のつく食べものがよいといわれている。例えば、うどん・ウリ・梅干し・ウサギ・馬肉(ウマ)・牛肉(ウシ)など、栄養価が



高い、または食欲がなくても食べやすい食材ばかり。

平安時代から室町時代には「めぐり」という水団（すいとん）や小豆、ニンニクを食べていたと伝わっている。

#### ■食べ物以外の風習

・丑湯：新潟 湯田上温泉：さまざまな効果があり「薬師の湯」と称される湯田上温泉。土用の丑の日に「丑湯」を楽しめば、1年無病息災で過ごせるといわれている。

・薬狩り：土方歳三の生家が販売していた「石田散薬」では、「病除け」や「厄除け」のため、薬草を摘むのは土用の丑の日のみと決まっていたとのこと。

・きゅうり加持：水分豊富なきゅうりに厄災を封じ込めることで、暑い夏を乗り切るための祈祷儀式をおこなうもの。空海も執り行なった儀式。

■ウナギの語源：うなぎはかつて、“武奈伎(むなぎ)”と呼ばれていた。家屋の棟木(むなぎ)のように丸く細長いから、胸が黄色(胸黄)だから、うなぎをさばく際の“むなびらき”に由来しているなどの諸説がある。

■蒲焼きの語源：“うなぎをそのまま棒に刺して焼いた形が蒲(がま)の穂に似ているから”というのが有力な説。

■うなぎの生態はとっても不思議：1991年の調査でうなぎの産卵場がマリアナ諸島西方が産卵場であることが特定されたが、生態には未だ不明な部分も多く、完全養殖に向けた努力が進められている。

■関東と関西では調理法が違う：さばく際、“関東は背開き”、“関西は腹開き”です。一説には関東は武士の文化が強く切腹を嫌ったこと、関西は商人の文化が強く腹を割って話すのが好まれたとも言われている。関東では一度焼いて、蒸した後にタレをつけて焼き上げるのに対し、関西は蒸さずにそのままタレをつけて焼き上げるという大きな違いがある。

■鰻の蒲焼きの起源：18世紀頃までは、うなぎは焼いたあと塩や味噌をつけて食べられていた。現在のような蒲焼きの始まりとしては、18世紀の後半に千葉県銚子市にあるヒゲタ醤油が“濃口醤油”を作り、それをうなぎの蒲焼きに使ってから広まっていったと言われている。

## 前回のロングスピーチ

### 「半藤利一氏を偲んで」

松永 成三郎さま

今年の1月12日、半藤利一氏は東京都世田谷区の自宅で亡くなりました。享年90歳でした。人生の先輩として惜しまれてなりません。半藤さんの経歴からお話させていただきたいと思います。半藤さんは、昭和5年に東京墨田区、当時の向島に生まれました。実家は運送業と父親は区議を務めていました。昭和18年東京府立第七中学校（現在の隅田川高校）に入学しましたが、三年生のとき昭和20年3月10日の東京大空襲に会い深夜の下町を逃げまどい中川に落



ちて漂流し、死にかける体験をしています（15歳の東京大空襲）。その後父親の生家のある新潟県立長岡中学に転入し、3年生で終戦を迎えました。以後浦和高等学校を経て東京大学文学部国文科に入学し、ボートに熱中しながらも卒業しました。因みに当時の同級生に「令和」の年号を提案した中西進がいます。昭和28年に文芸春秋社に入社、以後は平成7年同社専務で退職するまでの42年を「文春の顔」として著作活動を中心に、ジャーナリストとしても活躍しました。入社後間もなくから戦争体験者からの聞き取りを元に、週刊文春に「人物太平洋戦争」を連載し、「太平洋戦争を勉強する会」を主宰したりしてこの方面の第一人者になりました。昭和40年に「日本のいちばん長い日―運命の八月十五日」を執筆しましたが、最初は大宅壮一編集として出版されベストセラーとなりました。これはその後時を経て2回も映画化されてまた一躍有名になりました。

歳をとってきますと、昔を振り返ることが多くなり、昭和初期に生まれたものとしてやはり昭和という時代はなんだったんだろうと改めて思う次第です。日本の歴史が始まって以来「昭和」という年号は一番長いです。昭和天皇は摂政時代から数えますと約70年在位していたこととなります。平成の世になって34年。明治は遠くなりにけり・・・から「昭和は遠くなりにけり」になりそうです。

半藤さんが亡くなられた後多くの著書が再版されまして、改めて昭和に若い人も関心を示してくれるようになったのは本当にうれしいことです。半藤一利さんの著作も読まれることが多くなりましたので、数多い本の中から私がリストアップした一覧表を見ていただければありがたいです。あくまでやさしく語り掛けるような語り口、あくまで歴史に忠実でありながら、決してバイアスに陥らない公正な書き方には感銘してきました。訃報を聞いた時にまず思ったことは、これでまた偉大な「昭和の語り部」を失ったという気持ちです。同世代で同じ東京生まれながら、育った環境も学歴も職業も天分も私とは大違いですが、時代の節目で同じ体験を重ねてきたことに共感されます。氏の父親は運送業で区議をされていましたが、太平洋戦争の開戦の詔勅が流された直後に「日本はこの戦争に負ける云々」と話したそうです。その後も治安維持法で3度も引っ張られたという、非常に醒めた硬骨漢でした。半藤氏「歴史探偵」と自称され、広く、深く昭和の時代を探求しながら、決して時代に流されない判断力、分析力を維持されたというのはこういうDNAの持ち主だったからでしょうか？氏はむしろ心の温かい方だったということが奥様やお孫さんの話から伺えます。半藤さんの最後の本のあとがきの言葉ですが「私はゴルフや車の運転もせず、旅行の楽しみも知らず、釣り、山登り等に無縁で、パソコンやスマホなどの現代の便利な道具も使わず、ひたすら鉛筆で原稿用紙のマス目を埋め続けて次ぎ次と本を出された人生でした。ただお酒は大好きで誘われたら断ったことはなかったという話です。酔っばらって転倒すること複数回、令和に入ってすぐは骨折で入院手術になり、その後横になる生活が多くなったそうです。今年になり死期を悟られたのか、奥さまには「先に逝くのを許してください」と語り、最後に「日本人はそんなに悪くはないんだよ」とも言われたそうです。日清・日露で勝利しながら、昭和の太平洋戦争で大敗を喫した日本、昭和の戦争指導者の大きな間違いを鋭く突いた半藤氏ですが、日本・日本人に対する思いが伝わります。



### 3分間スピーチダイジェスト

## テーマ 「ワクチン」、「かび」

## 工藤 文夫「ワクチン」

私が聞いた「ワクチン」の都市伝説

- 1) 納税額が多いほど、早くワクチンをうけられる、傾向がある。
- 2) ファイザーの CEO は高値になった自社株を大量に売っている。  
(ファイザーの実験していたマウスが副作用で全部死んでいる。  
噂が広がって株が下がる前に、売り抜けようとしている。)
- 3) ワクチンは 2 回より 3 回接種した方が、安全度は更に高まる。  
(この話題で、下がった株を、もう一度、上げようとしている。)
- 4) ワクチンは、同じ種類を受けるより、他の品種を接種した方が効果があるらしい。(ex ファイザー+モデルナ+スプートニク?)

## 飯野 望「かび」

カビは、悪者の代名詞のように扱われがちですが、実はチーズ、みそ、しょうゆ、お酒、ペニシリンなどなくてはならない物でもあります。

1881 年に、スコットランド農家の 8 番目に生まれたアレクサンダーフレミングは、1941 年チャーチルの肺炎をペニシリンで助け、1945 年ノーベル賞・・・名言は・・・うまい酒を飲むには、古い年代物の酒を、新しいかみさんと飲むことだ!

## 中久木 一乗 :「ワクチン」

「ヒトは常に迷いながら選択を繰り返して生きている」と言います。

今日のテーマにも迷いましたが「黴」は複雑怪奇に感じ、単純な「ワクチン」に決めました。

今迄は 10 年単位で可能になるワクチン製造を、新型コロナに関しては 1 年余りで完成し、現在各国で多くの国民への接取を目指して懸命な努力が行われていますが、難題も多く、思うように進まない現実は、毎日のニュースでご存じの通りです。

難題は多種多様ですが、NHK ラジオによれば、ロシア政府は、「国産のワクチン：スプートニクは、欧米のワクチンのような副反応も少なく、より優秀である」と宣伝に努めているのですが、ロシア国民は「欧米ワクチンでも、危険があるそうだからロシア製はさらに危険があるだろう」と考え、接種が進まないそうです。物事の判断、選択は人それぞれです。

## 町田雅和 :「ワクチン」

ワクチンの謎かけを拾ってみました。「コロナウイルスと掛けて、汗っかきの先輩ととく。その心は、感染（汗腺）の広がり異常です」「ワクチン接種とかけて、休日のショッピングモールととく。その心は、駐車（注射）の列が絶えません」「ワクチン接種と掛けて、このファッションどうかな？ととく。その心は、副反応（服・反応）が気になる」「テレワークと掛けて、不良少年ととく。その心は、家で（家出）するでしょう」「コロナ明けの職場復帰と掛けて、カバンに噛みつくととく。その心は、噛むバック（カムバック）」 お後がよろしいようで、

## 渋沢 信幸 :「初参加です」

山中さんのご紹介で初めて参加いたしました。たいへん有意義な集まりでした。家内を亡くし沖縄で長期滞在生活をしていましたが、船橋に戻り思いがけないコロナ過で一人在宅生活です。3 年後に 1 万円札に“登場” 予定です。

**山中 昇：「ワクチン」**

7月6日にイーオンで1回目のワクチン接種をしたが、ワクチンに関する情報を提供した。新型コロナウイルスは病名が COVID-19、ウイルスの名前は SARS-2。ワクチンはイギリスの内科医のジェンナーが天然痘の対策の中で作った単語。乳しぼりの女性が天然痘にかからない事実から (Cowpox-牛痘-という言わば軽い天然痘にかかっている) 着想し、ボランティアを Cowpox に感染させ、さらに天然痘 (Smallpox) の原因である Variola ウイルスに感染させたが、天然痘を発症しなかった。このことから、牛を意味する Vacca というラテン語をベースとした Vaccine という単語をつくった。ワクチンはドイツ語の発音に近い。

**植野 晏生：「老い」**

「現代社会において老人は人間として扱われていないことに対する怒り。老人は廃品として扱われている。」と、ポーヴォワールの近著にある。

老いを感じた件、初詣に出かけた折、足が変だったので女房の肩に手をかけた途端、肩透かしに会い道路に顔をぶつけメガネが割れ顔が血だらけになった。2019 年金婚記念の旅行を終えるとこれで義務はすべて終えた、後は別れたいと打ち明けられた。今は口をきいてくれない。都内からセミナー要請を受けているが声が出ない。他とはリモートだズームだという中で対話がなくなっている中、声が出ないのだ。(仕方なくペットの文鳥に発声練習の相手になってもらおうと「じいじどうしたの」と顔を傾けられた。これでは益々声が出なくなる。

**入江 清之：「ワクチン」**

日本のコロナワクチン開発は塩野義製薬など5社が目下臨床試験中で、同社は来年早々にワクチンを供給出来ると先月発表した。日本のワクチン開発がいつも外国に遅れているのは、日本の政治・行政のシステムの硬直化にその一要因があるようだ。今官民一体でワクチンの製品化を急いでいるが、これは今のコロナの流行が年内では収束せずに来年以降もワクチン接種が必要となりそうなので、国産ワクチンの製品化が急務だからだ。また日本の薬事承認はこれまで諸々問題があったが、ようやく国も海外との大規模な臨床試験の仕組み作りや薬事承認手続きの簡略化を図ったことで、来年には塩野義などの国産コロナワクチンの製品化の目途が付いた。

**東條 伸一「初参加です」**

初めて参加させていただきました。山中さんの紹介です。一年以上前からお誘いがあったのですが、コロナなどいろいろ事情ありまして、本日がさいしょです。趣味は、ピアノをひいてます。この火曜日に先生のところでベートーヴェンの月光を終わらせました。もう10年以上やっていますが、定年後でも、上級者になれるものだなあと感心しています。あとはコンピュータ等でフォートランを使って計算をしています。

テーマのワクチンですが、打って副反応が出るリスクの方が、移って、重症化するよりも低いので、ぜひ打ったほうがいいと思います。

もう一つのカビのテーマですか、納豆菌は、非常に強力だそうです。日本酒の麹菌が納豆菌を持ち込むと、台無しになってしまうそうです。ぜひ納豆菌を取りましょう。



**長嶋 秀治：「ワクチン」**

鳥取県境港市観光協会主催の「妖怪川柳」で「ワクチンの保管に雇う雪女」が大賞に選ばれました。時宜をえた句で面白いなと思いました。私も川柳をやっていますが仲間の句に「接種済みバッジを着けて街に出る」という句がありました。黄門さまよろしくこの印籠が目に入らぬか！とやってみたいですね。私も 1 回目を受けました。全く痛くなくて拍子抜けしました。早く 2 回目を済ませて仲間の句のように解放されたい気分です。

**早瀬 君子：「コロナ禍で人と会うには…？」**

ある勉強会でお世話になったお仲間とは、退会後も年に 2 回ほど会っては会の様子やお互いの近況などを話すのを楽しみにしている。でもこのコロナ禍でお会い出来なくなってしまう、思い付いたのが 3 密を避ける公園のベンチである。早速、世田谷区在住の相手に「近所の大きな公園を探してください」と伝え、2 段重ねのお弁当を作りその日を迎えた。男性が案内してくれたのは遊具が揃った広い児童公園で、日差しを遮る木がなかったが恰好のベンチがあり、人気がないのを幸いにお弁当を食べ始めると、急にカラスが目の前に舞い降りた。悲鳴を上げるほど吃驚し、私が追い払っても全く動じず、男性が手を上げると後退りするものの又すぐに表れてはお弁当を狙う。その内園児たちが三々五々大勢やってきて、ゆっくり話すどころではなくなってしまった。折角のお弁当もそこそこに、“なんてこった！”の想定外の再会となってしまった。皆さんもコロナ禍、人と会うには児童公園は避けて、緑に囲まれた“自然公園”を探してください。

**大塚 親雄：「カビ」**

私の口から言うのはおこがましいが、細菌学は三つに分類されると言われている①バクテリア「細菌」②イースト「酵母」③モールド「カビ」である。でカビといえれば私はペニシリンを発見したアレキサンダー・フレーミングをおもいます。発見して 1 2 年目にやっとフロリーとチェーンが実用化にもっていつている。最初に試したのは肺血症に罹った警官にペニシリンを投与してみて、数時間しかもたないと言われていたのが 24 時間経っても生きているビックリした、更に投与を続けたら何と 14 日間も生き続けた。また 当時の英国の首相チャーチルは 2 度命を救われている一度目は旅行中重い肺炎に罹り空輸でペニシリンを取り寄せ一命をとりとめた。もう一つはスコットランドで休暇中沼で溺れているところをフレーミングに助けてもらった。当時チャーチル 14 歳、フレーミング 7 歳。

フレーミングは控えめな人で周りから「凄いですね」、「偉いですね」と言われると、わたしは何もしていないペニシリンを作ったのは自然そのもので私はただそれを偶然見つけただけです。1945 年 3 人はノーベル賞をもらっている

予告：9 月 「船橋ユーモアスピーチの会」

9 月 9 日 (木) 15 時～ 船橋中央公民館第 2 集会室  
ロングスピーチ

町田 雅和さん「頭の体操」

長嶋 秀治さん「山の雑記帳から」

スピーチテーマ 「オリ・パラ回顧」、「わかっちゃいるけど」

